



BRAHMS

アマチュアオーケストラ

新交響楽団 第254回演奏会

The New Symphony Orchestra – 254th Concert

指揮 山下一史

YAMASHITA Kazufumi, conductor

ブラームス

Johannes BRAHMS (1833-1897)

大学祝典序曲

Academic Festival Overture, Op. 80, 1880

ハイドンの主題による変奏曲

Variations on a Theme by Haydn, Op. 56a, 1873

交響曲第2番ニ長調

Symphony No. 2 in D major, Op.73, 1877

Design: IMAO Keisuke

池袋駅西口 Ikebukuro Station, West Exit

13:00 開場

2021年7月4日(日) 東京芸術劇場コンサートホール 14:00 開演

Sunday, July 4, 2021, 2:00pm (doors open at 1:00pm) at Tokyo Metropolitan Theatre, Concert Hall

入場料 S席: ¥3,000 A席: ¥2,000 (全席指定)

チケットのお申し込み: 新交響楽団ホームページ <http://www.shinkyo.com/>

チケットのお申し込み・お問い合わせ: コンサートイマジン 03(3235)3777 *10:00 ~ 18:00 (日曜・祝日を除く)

・客席内でのソーシャル・ディスタンス確保のため、ご購入できるお座席を一部制限しております。

・感染予防及び公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前予約・引き取り・購入をおすすめいたします。

*点字プログラムを若干部用意しております。入口でお渡しいたしますのでお申し付けください。

*おそれいりますが未就学児のご入場はお断りさせていただきます。託児サービスをご利用ください(予約制・詳細は裏面)。

新交響楽団のホームページ <http://www.shinkyo.com/> 演奏会案内や曲目の解説、これまでの活動記録などがご覧いただけます。

ブラームスは好きですか？

今回の演奏会はオール・ブラームス。ブラームスはドイツの大作作曲家で北ドイツのハンブルクで生まれ、ウィーンで生涯を終えた。ハンブルクの冬は寒く長く曇りが多く、人々は勤勉で真面目。そのような土地柄を反映してか、ブラームスの音楽は深くそして心にしみる。

映画にもなった「ブラームスはお好き」というサガンの小説があるが、最近では「ブラームスが好きですか」という韓流ドラマがあり、これは親友であるシューマンの妻クララを慕っていたブラームスにかけた物語らしい。生涯独身のブラームスだが、恋多き人生でもあった。

自分に厳しく完璧主義で納得のいかない作品は残さなかった。幼少期よりピアニストとして活動していたブラームスにはピアノ曲や室内楽曲は比較的数が多いが、管弦楽作品は少なく、4つの交響曲といくつかの協奏曲と管弦楽曲のみで、どの曲もオーケストラの主要レパートリーとなっており、ブラームスが大好きな演奏家は多いだろう。

ブラームスの田園交響曲

交響曲第2番は、ベートーヴェンを意識して20年費やした交響曲第1番が完成した後、ふっきたように4か月で書き上げられた。南オーストリアのヴェルター湖畔にあるペルチャッハという避暑地で作曲され、重厚で劇的な第1番とは対照的にのびやかで明るく、ブラームスの田園交響曲とも呼ばれる。自然を愛するブラームスは美しい風景を気に入り、翌夏には同所でヴァイオリン協奏曲も書いている。

これらの名曲を生み出し名声が高まったブラームスに、ドイツ(現ポーランド)のブレスラウ大学から名誉博士号が贈られた。その返礼として作曲されたのが「大学祝典序曲」で、儀式の音楽ではなく4つの学生歌が引用された楽しい演奏会用序曲。ラジオの大学受験講座のテーマ曲に使用されていたので聴いたことのある方も多だろう。

どうぞお楽しみに！(H.O.)

ご来場いただくお客様へ(新型コロナウイルス感染症対策)

当日はご自宅で検温していただき、マスク着用にてご来場ください。37.5℃以上の発熱、咳・のどの痛み・倦怠感等の体調不良がある方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある方は、ご来場をお控えください。

会場入り口でご来場の皆様の体温を測定いたします。会場内ではマスク着用し、咳エチケットやこまめな手洗い、手指消毒をお願いします。ほかの人との距離できるだけ空けるようにし、大きな声での会話はお控えください。

クローカーサービスとドリンクコーナーは休止していますのでご注意ください。また出演者への贈り物はお控えください。

体調不良等が認められる場合は、ご入場をお断りする場合があります。なお、体調に不安がありご来場をお控えいただく場合や、当日の検温の結果入場いただけない場合は、チケット代を払い戻します。

詳しくはホームページにて注意事項や公演の最新情報をご

確認ください。これらのお願い事項につきましては、状況により変更になる場合がありますので、ご了承ください。

今後の演奏会予定

<第255回演奏会>

2021年10月31日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 飯守 泰次郎

曲目 ワーグナー/歌劇「リエンツィ」序曲、歌劇「タンホイザー」序曲、ブルックナー/交響曲第3番

<第256回演奏会>

2022年1月9日(日)14時 東京芸術劇場

指揮 矢崎 彦太郎

曲目 メンデルスゾーン/交響曲第3番「スコットランド」他

新交響楽団のプロフィール

新交響楽団は1956年に創立されたアマチュアオーケストラです。音楽監督・芥川也寸志(1925-89)の指導のもとに旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきました。

またマーラーの交響曲全曲シリーズ(山田一雄指揮、1979-90)、ベルリン芸術週間への招聘・邦人作品演奏(石井眞木指揮、1993)、伊福部昭米寿記念演奏会(2002)、石井眞木遺作「幻影と死」完全版初演(高関健指揮、2004)、ワーグナー「トリスタンとイゾルデ」演奏会形式公演(飯守泰次郎指揮、2006)など、幅広い活動を積極的に展開しています。

維持会のご案内 ～良いお席を安く～

新交響楽団維持会は、新響の演奏活動にご賛同いただき支援して下さる方々の組織です。集まった会費は、楽器購入や演奏企画に活用しています。会費は一口10,000円で、2年間有効の5枚綴りの回数券(どの演奏会でも一度に何枚でも使用可能)を差し上げます。良いS席を優先的に確保いたしますので当日その中からお選びいただけます。お申込みは郵便振替にて直接会費をお振込みください。郵便振替口座:00130-0-28074「新交響楽団維持会」

団員を募集しています

音楽監督の故芥川也寸志が長年にわたって主張し続けてきた「音楽はみんなのもの」を実践し、常に新しい視点を持って活動していくために、新しい力が必要です。何はともあれ、ぜひ一度練習をご覧ください。見学・オーディション等のお問い合わせはE-mail:shinkyo@music.nifty.jp

練習は毎週土曜日午後6時~9時、東京芸術劇場(池袋)、クラシック・スペース☆100(大久保)他にて。

演奏会当日の託児サービスのご案内

東京芸術劇場でのご鑑賞の際には、施設内の託児室をご利用いただけます。土日祝日を除く公演日一週間前までにご予約ください。対象年齢:生後3ヵ月から小学校入学前、1公演あたり2,200円(税込)お問合せ:株式会社ミラクス ミラクスシッター、電話0120-415-306(平日9:00~17:00、土日祝日休み)